

経営比較分析表（令和5年度決算）

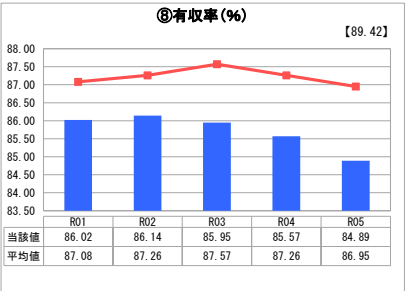
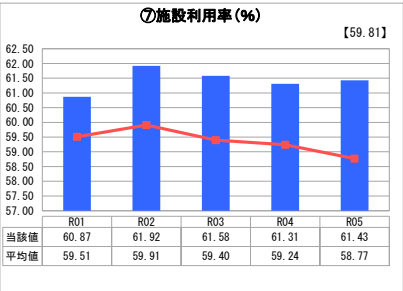
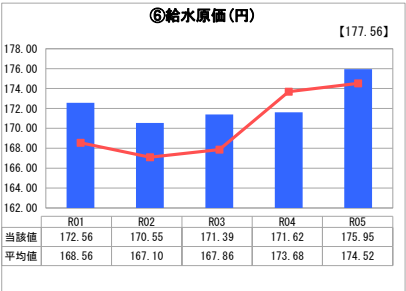
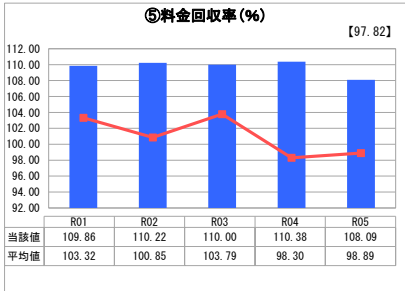
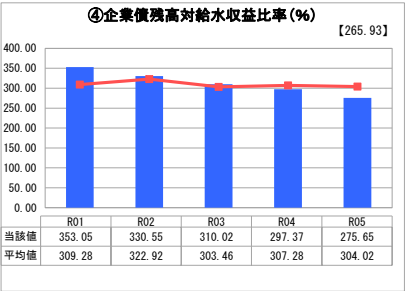
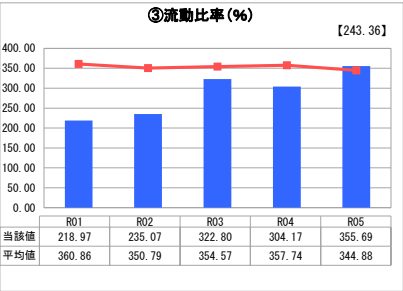
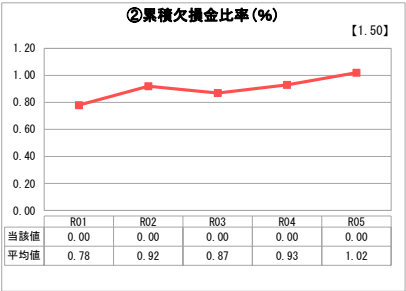
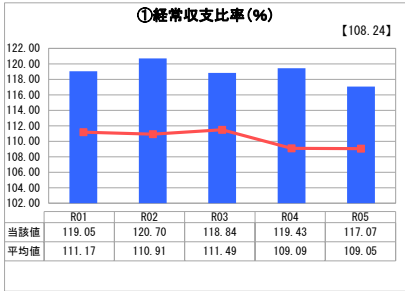
長野県 塩尻市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	73.81	99.93	3,120	

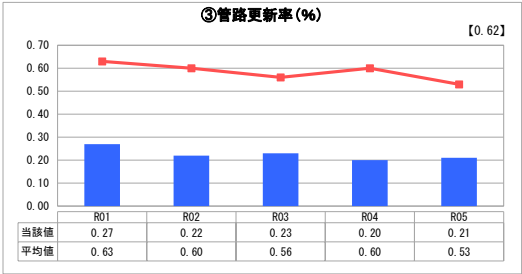
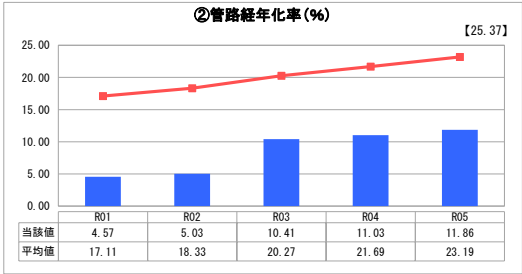
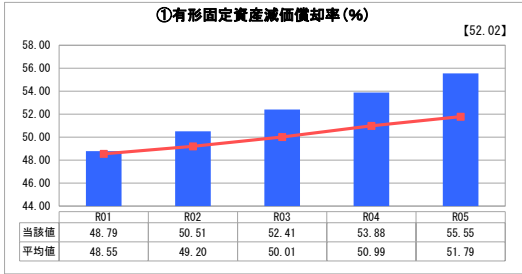
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
65,623	289.98	226.30
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
65,389	102.97	635.03

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は100%以上を維持し、経常損益は黒字となっています。

②累積欠損比率は0%で、欠損金は発生していません。

③流動比率は、100%を超え、債務に対する支払能力は確保されており、類似団体平均を上回っています。

④企業債残高対給水収益比率は、企業債残高が毎年度減少しているため、数値も減少しています。

⑤料金回収率は100%以上を維持しており、給水に係る費用は収益で賄えています。

⑥給水原価は、令和5年度は経常費用において、水道施設の修繕費が増額となったこと及び年間有収水量が減少したことにより、類似団体平均を上回りました。今後、施設の更新等により給水原価のさらなる上昇が予想されるため、投資の効率化や維持管理費の削減に取り組んでいます。

⑦施設利用率は、類似団体平均を上回り、高い水準を維持しています。今後も確実な供給能力を維持しつつ、需要に見合うよう施設規模の適正化を検討していきます。

⑧有収率は、類似団体平均を下回り、低い水準となっています。老朽管路の更新など漏水対策に努めていきます。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似団体平均を上回っています。数値は、毎年度上昇し、保有資産の老朽化が進んでいることを示しています。

②管路経年化率は、類似団体平均を下回っています。法定耐用年数を経過した配水管があることから、数値は毎年度上昇しています。

③管路更新率は、類似団体平均を下回り、低い水準となっています。今後は、老朽化した施設や管路の更新に相当の年数が見込まれることから、計画的かつ積極的な管路更新等を実施していきます。

全体総括

今後の水道事業経営にあたっては、水道料金への影響を最小限とし、将来にわたり利用者の負担をできる限り抑えるため、投資の平準化及び整備コストの縮減を図っていきます。

また、施設の重要度や健全度に応じた修繕や更新、施設のダウンサイジングを行うことで、施設の延命化及びライフサイクルコストの低減を図っていきます。

水需要の減少に伴う給水収益の減収が予想されるなか、老朽施設の更新等に多額の投資が必要となります。

投資と財政のバランスに配慮し、長期的視野に立った効率的で効果的な事業展開を図り、更なる経営改善に取り組むことで、健全で持続可能な事業経営に努めていきます。